



# 田上町 議会だより

第121号

■平成31年1月25日発行



▲第32回除夜の花火

---

新年の挨拶	.....	P 2
12月定例会	.....	P 3
付託案件審査報告	.....	P 4～5
請願・陳情	.....	P 6
一般質問(10議員)	.....	P 7～16
常任委員会視察研修レポート	.....	P 17～18
一部事務組合報告	.....	P 19
交流会館等建設調査特別委員会・全員協議会	.....	P 20～21
インタビュー「この人にお聞きしました」／編集後記	.....	P 22

---





# 新年の挨拶

議長 熊倉 正治

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

常日頃から、議会に対するご指導、ご支援、ご協力には深く感謝申し上げます。

さて、町においては、一昨年の十一月からの早い降雪に始まり、一月、二月には豪雪となりました。

また、国内においては、島根県や大阪府、北海道での地震、相次ぐ記録的な台風が発生、西日本や北海道での七月豪雨、観測開始以来の記録的な「猛暑」など、大きな災害が多発した年でした。

議会としても、町における大雪や地震、風水害等の災害への備えや対応を、改めて問い直す機会になったと思っております。

国政においては、森友・加計学園問題や働き方改革関連法案、入国管理法改正法案など重要法案の審議や答弁、採決をめぐって、国会が混乱している状況が続きました。

国内の景気動向において、回復基調は継続し、戦後最長の回復期間に並んだ可能性があると言われておりますが、地方においては、未だその実感は乏しいのではないかと感じております。

町においては、交流会館の完成が間近に迫り、403号線バイパス開通も見込まれ、更に飛躍が期待される年になると思っております。

議員の任期も残り僅かとなりましたが、議員一人一人が更なる研鑽を積むとともに、町民生活の安定を最優先に、公正・公平での確な行動を執って参ります。

町民各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。平成最後の年となり、また新しい元号に変わる亥年が輝かしい一年となりますようお祈りし、年頭のあいさつと致します。

平成三十一年 元旦



高	藤	小	渡	中	椿	浅	熊	川	松	池	関	高	小
取	田	嶋	邊	野	一	野	倉	崎	原	井	根	橋	池
正	直	謙	勝	和	一	一	正	昭	良	豊	一	秀	真
人	一	一	衛	美	春	志	治	夫	彦		義	昌	一郎

- ・ 来年度は涼しい教室で学習を
- ・ 核兵器禁止条約への調印を求める意見書提出に関する請願を採択



▲条例改正議案の起立採決

## 議案

### 【人事案件】

・ 固定資産評価審査委員会委員の選任

渡辺 幸子 氏（再任）

任期は12月20日から3年間です。

### 【条例改正】

・ 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

反対意見もありましたが、賛成多数で原案可決しました。

・ 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

反対意見もありましたが、賛成多数で原案可決しました。

・ 田上町職員の給与に関する条例の一部改正

原案可決しました。

### 【町道路線】

・ 町道路線の認定

・ 町道路線の変更

原案可決しました。

### 【30年度補正予算】

・ 一般会計

・ 下水道事業特別会計

・ 国民健康保険特別会計

・ 後期高齢者医療特別会計

・ 訪問看護事業特別会計

・ 介護保険特別会計

・ 水道事業会計

原案可決しました。

### 【追加議案】

・ 核兵器禁止条約への調印を求める意見書について

全会一致で原案可決しました。

## 第5回臨時会

期日 平成30年10月23日

・ 30年度一般会計補正予算

小中学校の空調設備設置工事設計業務委託料が上程されました。

総務産経、社会文教常任委員会  
会で連合審査会を開き合同で  
審査を行いました。

両常任委員会、並びに本会議  
でも全会一致で可決しました。

総務産経常任委員会付託案件審査

- 主な議案内容
- ・ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金2848万9千円
  - ・学校教育施設等整備事業債(町債)2億230万円

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正  
 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正  
 田上町職員の給与に関する条例の一部改正

改正の内容として、議員の期末手当は、12月分を0・05月分引き上げる。  
 特別職の期末手当は、12月分を0・05月分引き上げる。  
 職員の給料表を改定し、初任給を1500円引き上げ、若年層は1000円程度引き上げ、他は400円引き上げる(平均改定率0.2%)。期末・勤勉手当は、12月分を0・05月分引き上げるものです。



反対 民間に比べて給与水準が高く、交流会館、道の駅整備、小中学校の空調設備など事業

が控えていることで、歳出を抑制すべきであり、議員、特別職の報酬および職員の給与を改定するのは時期尚早である。  
**賛成** 人事院と県の人事委員会の勧告を尊重して給与の改定を行うのは給与条例の精神であり、簡単に覆すべきではない。

**田上町道路線の認定 田上町道路線の変更**  
 R403号バイパスで分断された町道の延長変更と、路線番号の新たな振りなおし、およびバイパス側道を町道とするものです。



▲町道路線の認定 変更箇所の現地確認

30年度一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出にそれぞれ3億4140万4千円を追加し、総額を54億2566万円とする補正です。  
 歳入は、地方交付税、国庫支出金、繰入金、繰越金、町債です。  
 歳出は、特別職及び職員の給与・手当の改定に伴う増額が主なもので、他に新婚子育て世帯向け個人住宅取得資金利子補給金は17件の申請があり、追加7件分70万円の増額です。

**30年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)**  
 歳入歳出にそれぞれ44万6千円を追加し、総額を5億4069万4千円とする補正です。  
 歳入歳出は、職員の給与・手当の改定に伴う増額です。

30年度水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出に6万9千円を追加し、総額を2億6001万6千円とし、資本的支出に2万5千円を追加し、総額を1億2673万4千円とする補正です。  
 支出の増額は、職員の給与・手当の改定に伴う増額です。  
 審査の結果、条例の改正は起立多数、他は全会一致で原案どおり可決しました。

委員長 高取 正人



▲総務産経常任委員会付託案件審査

# 社会文教常任委員会付託案件審査

## 一般会計補正予算 (第7号)

歳出の主な内容としては、条例の一部改定に伴う給与、手当等の増額補正です。給与の町平均改定率は0.2%、勤勉手当の支給月数を0・05ヵ月引き上げるものです。

民生費では、障がい者施設の入所先変更などによる委託料の増、衛生費では、総合福祉センターの冷蔵庫老朽化による入替費用、任意の風疹予防接種希望者増のため、3名分から20名分に増額するものです。(二人当たり3000円補助)

教育費では、スクールバスの軽油代金、教室のストーブ灯油代金など燃料費の高騰による需用費の増額。羽生田小学校で避難訓練時、不具合が発見された放送設備の修繕費の増額です。

空調設備設置関係費では、

「平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」について、内容の説明がありましたが、町はまだ設計段階でもあり、詳細については今後改めて説明されます。

### Check 議論の中心

Q 冷房設備のランニングコストは電気とガス使用ではどちらが得か。

A 長い期間でみるとガスの方が安価ですが、初期費用がかかること、学校の建物が古いので、今後の建替えなど考慮すると電気の方が得と考え、電気に決定しました。

Q 工事の進捗率を上げるためにも分割発注の方法もあるが、どのような対策を取るか？  
A 12月末頃に空調設備に関する設計書ができてきます。学校ごとの発注など、その内

容の検討を重ね、できるだけ早期の工事完了を考えています。

## 30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に95万7千円を追加し、総額を13億247万7千円とする補正です。

歳入では、保険基盤安定負担金の決定に伴う一般会計繰入金金の増額、歳出では29年度の事務費繰入金金の確定による一般会計繰出金の増額です。

最近の医療費等の動向について、29年度までは減少傾向で推移してきましたが、今年度に入って、増加の兆しがみえるとのことでした。

## 30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出の予算に87万3千円を減額し、総額を1億2612万円とする補正です。

歳入では、保険基盤安定負担金の決定に伴う一般会計繰

入金の減額、歳出では30年度の保険税の軽減者数確定による後期高齢者医療広域連合納付金の減額です。

## 30年度訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算に15万7千円を追加し、総額を41115万7千円とするものです。職員の給与改定によるものです。

## 30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に6578万6千円を追加し、総額を14億542万7千円とするものです。

特養施設や介護老人保健施設の入所者の増加などによるものです。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 松原 良彦

# 請 願

番 号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 2 号	核兵器禁止条約への 調印を求める意見書 提出に関する請願	田上町大字原ヶ崎 新田 1393-1 田上町原水禁代表 斎藤 勲	川崎 昭夫 渡邊 勝衛 高橋 秀昌	採 択	内閣総理大臣 外務大臣



▲請願第2号の委員長報告

# 陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 5 号	田上町商工会からの要望書	田上町商工会会長 野澤幸司 田上町商工会商業部会長 阪内机由 田上町商工会観光部会長 塚野裕喜 田上町商工会建築部会長 渡辺 勝
陳 情 第 6 号	湯田上温泉旅館協同組合からの要望書	湯田上温泉旅館協同組合 理事長 塚野裕喜

町政に対する要望等は請願書・陳情書として議会に提出することができます。

## ○請願書

請願書を提出する際は、1名以上の議員の紹介が必要です。

請願書は、表題を付け、内容がよくわかるように記入してください。

また、請願者の住所・氏名を記入し押印してください。法人による請願は、名称と代表者の氏名を記入し代表者印を押印してください。

請願書は、議会に提出され、審議します。

## ○陳情書

陳情書を提出する際は、議員の紹介は必要ありません。

請願書と同様に住所・氏名を記入し押印をしてください。

陳情書は、その写しを議員に配付するのみとなります。



かわさき あきお 川崎 昭夫 議員

ここが聞きたい

# 一般質問

## 田上町強靱・活性化、障がい者支援の対応は

町長：樋管拡張は、財政状況等考慮すると難しいが、西口開口は今後JRに要望。障がい者支援は、ニーズの把握に努める。

### 田上町の強靱化整備と活性化促進について

**問** 国は「国土強靱化」政策を推し進め、防災・減災対策をしてきました。国の支援・補助施策と照らし合わせスピード感のある取組を期待し、強く要望してきました。R403号バイパスについては、数年間国土交通省へ出向き、早期開通を要望してきたことにより、平成32年春開通が約束されました。

R403号線下、JR鉄道線下の横断樋管拡張整備は、いまだ解決していません。田上駅周辺の冠水対策整備で、駅前横山川については、対策は終了していますが、度々の冠水が起こることから、まだ改修の余地があると考えます。

地域活性化では、羽生田、田上両駅周辺及び西口の開口整備を要望してきましたが、「鉄道のバリアフリー化の推進」は一日平均利用者数

が3000人以上の駅を原則としており、対象外となっております。JR新潟支社の回答は、「管理上の問題があり、西口は設置しないと、両方から入るには橋上駅化するの一般的な見解です。橋上駅化的には、駅前広場、都市計画道、バス停等の整備を一体的に取り組む必要がありますので、JR側も簡単に応じないと思います。

町民から多くの要望が出されている羽生田駅は、3線踏ぎとなるので橋上駅にしなればなりません。田上駅は乗降客が増えれば、可能と考えます。JRは民営化されましたが、公共性を背負っています。湯田上温泉・護摩堂山の観光財産を有効に活かし、地域活性化を促進し、田上駅の乗降客の増を図り、駅の西口開口整備に取り組む必要があると考えますが、町長の考えを尋ねます。

**町長** 雨水対策は27年度に全体計画の見直しを行い、近年の降雨データや特性の変化を考慮し、1時間に64・9ミリの強度による計画にしました。横断樋管については、地下埋設物の移転や財政状況等を考慮すると非常に難しいことから原則として改修は考えていません。

羽生田、田上両駅の西口開設については、新潟県鉄道整備推進協議会を通じて、JRに利便性向上のために設置を要望しています。具体的進展はありませんが、今後も駅周辺の整備とともに西口開設に関して引き続き研究、検討していきます。

### これからの障がい者支援について

**問** 24年4月から田上町社会福祉協議会が、生活介護と就労継続支援の事業所指定を受け、障がい者支援センターの指定管理者として障がい福祉

サービスを提供しています。日中支援サービスはよいが、夜間のサービスが十分とは言えません。知的障がい者は施設対応が必要です。ノーマライゼーションの理念に基づき、健常者に近い人は就労支援B型施設、グループホーム等の施設を考慮するとともに、24時間サービスができるサポートセンターの設置も必要と考えますが、町長の考えを尋ねます。

**町長** 町から社会福祉協議会に委託して、生産活動の機会の提供や訓練などの支援を行っています。また、24時間の相談や福祉サービスの利用の相談や福祉サービスの利用の援助などに対応した相談支援事業も行っています。念願だったグループホームも田上福祉会が29年8月に開所しました。しかし、これで万全ということではなく、今後もニーズの把握に努めていきます。



こじま けんいち 議員  
小嶋 謙一

## 交流会館には天候の悪い日など、幼児と過ごせるスペースの提供も望まれます

教育長：子育て中のお母さんたちが、幼児を連れて気軽に利用できるコーナーの設置も検討しています。

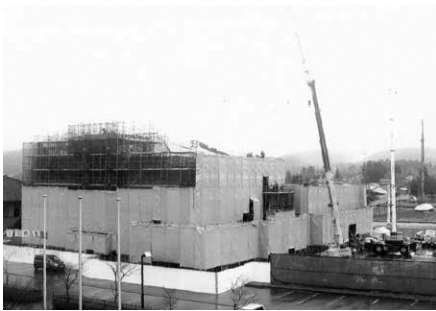
### 田上町交流会館の管理運営について

**問** 交流会館は現公民館の老朽化に伴い、公民館設置条例のもと名称を田上町交流会館と改め、図書館を除いた公民館事業を引き継ぎ、災害時の避難所として来春の完成を目指しています。この事に関して①条例の改定や管理運営方針の検討など、今後の作業見通しについて尋ねます。②管理運営の検討では、「趣味の教室」などこれまで公民館を利用してきた人たちの意見も反映させるべきです。③館内に子育て支援につながる幼児と過ごせるスペースを設ければ、多面的交流発信の機会にもなり、スペースの提供が是非とも望まれます。以上の3点について教育長はどのように捉えていますか。

**教育長** ①交流会館は町の直営による管理運営を基本とし、ある程度の方向性は来年3月

には出せると思います。関係条例の制定や改定は遅くとも6月定例会までには行いたいと考えています。②交流会館は子供からお年寄りまで気軽に立ち寄れることを目指しています。町公民館利用者の方などからのご意見もいただき管理運営上の方針を決めていきます。③子育て中のお母さんたちが気軽に利用できるようなコーナーの設置も検討しています。予約が無い時は多目的ホールなどの一般開放も考えています。

また交流会館は、災害時の避難所としての役割も果たしていく必要があります。



▲建設工事中の交流会館

### 公共交通（新交通システム）の運営について

**問** 公共交通の運営について、11月19日の議会全員協議会の議論も踏まえて質問します。

①協議会の議論では、現段階の交通システムは、町長が公約に掲げている無料巡回バスと、重点道の駅推進協議会ワーキング会議で検討しているコミュニティバス（アンケートでは有料も可）の2通りが存在しています。高齢者にとって2通りのシステムは複雑に映り混乱を招きかねないため、これを1本化して協議が遅滞なく進むことに配慮すべきだと思えますが、町長の考えを尋ねます。

②巡回バスの無料は町長の公約ですが、これを政策に反映させる時、切迫した財政を顧みれば、町民すべてが無料でなく、対象を高齢者に絞るなどの制約を設けても、不満は出ないと思います。町長の再考を要望し考えを尋ねます。

### 町長

①道の駅への公共交通なのか、公約で掲げた内容の公共交通なのか整理する必要があります。これから検討を進める公共交通は道の駅に特化したものでなく、JR駅、役場、道の駅などを起点とした運行、運営を想定しています。具体的な運行形態等は、今後立ち上げる公共交通協議会でルートや方法、運賃などについて議論します。

②運賃については全てが無料と言う考えではなく、無料と有料との線引きも必要であるのかなとも思っています。いづれにしても利便性の向上が図られるようにしたいと考えています。





ふじた なおいち 議員  
藤田 直一

## 町長の公約実現に向けた基本政策の確認について

### 町長：政策実現に向けた考え方で予算編成

無料巡回バスの運行開始の予定時期は・・・

**問** 町長が考えている政策の中で町民が一番関心を持っていてのが、「高齢で、または免許を返納して買い物に行くにも不便、病院に行くにも不便な人たちをなくす」ための無料巡回バスの運行です。実現には時間のかかるもの、早く実行できるものがあると思いますが、運行開始の時期はいつ頃になるのか尋ねます。

**町長** 無料巡回バスは出来る限り早期の運行を目指します。平成31年度に協議会を立ち上げ、そこで巡回バスの運行の方法、形態等について議論したうえで実施することになると思います。現時点では、いつと具体的な実施時期は申し上げられませんが、早期に運行できるように取り組んでいきます。

小中学校の給食費負担の軽減について

**問** 現状における生徒の負担額は、小学生・月額4900円、中学生・月額5800円です。町長は政策で第2子半額、第3子から無料にするとのことですが、実施時期はいつ頃になるのか尋ねます。

**町長** 給食費負担の軽減は31年度から行い、予算規模は毎年800万円程度を見込んでいます。若いお父さん、お母さん達の経済的な不安や負担を少しでも軽くすることで、町の人口減少対策にも寄与できると思います。

冬期間の通学バスを運  
行できないか

**問** 川ノ下地区、原ヶ崎地区の自治会や父兄から冬期間の安全な通学路を確保してもらいたいとの意見が多くあります。通勤と登校が重なる時間

帯は、積雪により山沿いの坂道は狭くなり、すれ違い等大変危険です。長年の懸案事項でもあり、児童を巻き込む事故が起きてからでは遅いのです。1月から3月までの間、通学バス運行を実施してもらいたい。教育長の考えを尋ねます。

無料放課後塾の設置について

**問** 指摘の箇所は確かにかなり急な坂道で、道路幅も狭く、雪道の場合は特に通学に注意が必要です。スクールバスの運行も考えてみました。雪道になった場合、大きなバスが通ることが難しく、いったんR403号線まで回って乗車してもらおうことになり、児童の負担になってしまします。また、現状の2便から3便にすると、最初の便に乗る児童は今より2〜30分早く午前7時頃に降らないといけなくなります。雪が多い日は、3便目が始業時間に間に合わないことも考えられるので、バス運行は難しい状況です。

**教育長** たけのこ塾を充実させる形で実施日を増やし、きめ細かい指導ができればと考えます。一番の課題は指導員の確保ですが、現状は中々難しい状況です。



つばき かずはる  
榎 一春 議員

## 町民の望む交通は、「呼出システム」。社会実験を

町長：利用される方目線で、より多くの人から利用できるよう導入に向けた社会実験も含め検討する

### 無料巡回バス 社会実験の進め方

**問** 公共交通のあり方については、以前より議論がされてきました。「道の駅たがみ」へ訪れるための移動手段についてのアンケートの結果を受けての質問です。

町は結果により、「町営のコミュニティバス」と結論付けています。これは、近隣の市営バスや当町でも過去の福祉バス等と同じく、利用者が少ないという失敗を繰り返すことにならないではないでしょうか。

アンケートの分析結果では、「予約しなく」とも「好きな時間に」来てくれ「自宅前等」から乗れる、ということを利用する条件の一番に、約60%の人が希望しています。

しかし、そのような交通形態が無いということで検討の対象外とされています。このことが問題です。

本当に町民の望む交通シス

テムは次のものだと考えます。

「停車場」は、「金融機関」「スーパー」「美容室」「病院」「郵便局」と定められた場所に行き、「自宅前」で乗降できる、「好きな時間」に呼び出す、こんな交通システムでしょう。具体的には、車は7人乗り程度のワゴン車などで、定めたコースを巡回する。しかし乗車希望の呼び出しがあったらそちらに向かう運行方法です。

「GPS」と「スマートフォン」を活用した「呼び出しシステム」を考え、社会実験に取り入れることが必要と思いますが、町長の考えを尋ねます。

**町長** 自宅前の停車を可能とする運行システムの研究という事ですが、可能な限り利用される方目線で、導入に向けた社会実験も含めて検討してまいります。今回のアンケート結果は道の駅に関する調査で、対象とした年齢層も限定したものでした。今後は、公共交通協議会を設置して、よ

公共交通協議会を設置して、よ

り多くの方から利用していただけに経費等も考慮した中で運行の実現に向けて検討していきたいと思えます。



▲岡山県：デマンドバス（モーモーバス）

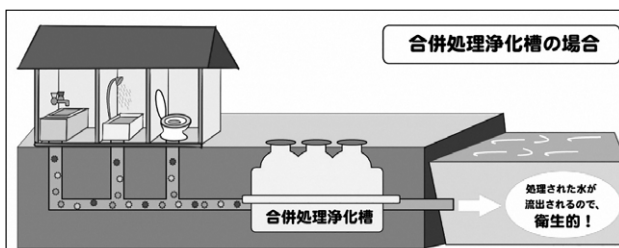
### 合併浄化槽整備と 下水道事業どちら

**問** 下水道事業が雨水対策の為に再開されていますが、当

町の住宅が点在している地区などでは、合併浄化槽が個人負担も少なく、町の事業費も抑制できると思います。「循環型社会形成推進交付金」を活用するなど、下水道事業から

合併浄化槽整備へ切替が良いと思えますが、町長の考えを尋ねます。

**町長** 現在は雨水対策の為に下水道整備をしています。雨水対策が終わった時点で、財政状況、社会状況の変化等もありと検討していきたいと思えます。



▲合併処理浄化槽のイメージ



たかはし ひであき  
高橋 秀昌 議員

### 3億円のクーラー設置工事は地元業者も参入を

町長：災害対応や除雪等の地域の安全確保に貢献している企業を

安倍内閣は、憲法改定や出入国管理法の改定、漁業法改定、消費税10%増税、千島列島放棄の外交など、どれをとっても住民不在の大改悪を進めています。その一方で巨大企業は、400兆円を超える莫大な社内留保金を貯めこんでいます。国が庶民の為の政治ではなく、企業の利益優先の政治だからこそ、佐野町政には、自治体を守る先頭に立ち、福祉・教育を中心とした住民に優しい政治を行うことを求めて以下の質問を行います。

#### 学校空調設備工事は町内電気事業者を優先に

**問** 単年度で3億円の大事業です。あれこれ理由をつけて町外業者にやらせるのか、地元業者に積極的協力を求めるのか町長の力量が問われます。地元業者が参入できるようにするには建設業を主に対象とした現在の町入札規定を改

善する必要があります。入札規定を改善し、地元電気工事店も参入することが出来れば、地域経済の循環に大いに役立つのです。  
ぜひ、地元業者が参入できるようにすべきです。

**町長** 地元業者に受注の機会を与えられるようにということとは当然のことです。

しかし、金額的に大事業であり、私は入札の仕組み、地元業者が参加できるような体系をこれから検討していきたいと思っています。

#### 新生児聴覚検査に全額助成を

**問** 厚生労働省は、2016年3月に聴覚障害の早期発見の重要性から市町村で新生児聴覚検査に積極的に取り組むよう要請しています。更に、その財源は地方交付税措置をしてある旨を明らか

にしています。

田上町は、子育て支援の立場から新生児聴覚検査を全額公費負担で実施すべきです。

2014年、田上町の赤ちゃん誕生は65人。検査費用が一人5000円なら32万5000円で実現します。聴覚障害の早期発見に大きく貢献します。

**町長** 平成31年度予算では取り組むことができません。私の公約や既に予定されている事業を優先的に取り組んでまいります。

#### 学校給食費助成は全員を対象に

**問** 町長は、学校給食費を第2子に半額、第3子に全額助成するとしています。町長の選挙公約の通りに実施すると合計約1200万円の助成です。しかし、約53%を占める第1子は対象外となります。これを改め、全ての子ども

たちを対象に給食費助成を行うべきではありませんか。

町長が主張する学校で2人の兄弟等が在籍する家庭へ半額、3人の兄弟等が在籍する家庭へ全額補助ですと約800万円の助成となり、わずか32%の子どもだけが対象となってしまう。

合計特殊出生率は、1%を下回っており、産みたくても産めない現実が広がっています。

こうした田上町の実態から全ての子どもたちに助成すべきです。

**町長** 子育ては、2人目3人目に大きな負担がかかります。これに助成をしたい。私の真意は在学中の2人、3人の家庭への支援を考えました。

# 質 問

## あじさいロードや道の駅に叡智を尽くして

町長：町としても全力を挙げて取り組む



なかの かずみ 議員  
中野 和美

### 愛着のある あじさいロードに

**問** あじさいロードは「水と土」、「チームeco」、村上の「黒塀プロジェクト」のように、町民参加できるところは取り組み、自分たちで手を加え、愛着のあるものにしていったなら、また違う町の財産になるのではないかと考えます。

歩道として役場周辺から町民体育館周辺までつなぐことが前提条件とのこと。どうしてもやらなければいけない事業であるのであれば、イベントの仕方や工夫によってオーラル上で取り組まなければ、今までどおり異論を唱える声は減らせないと思います。

ぜひ創意工夫による町民参加のまちづくりをしていただきたく、町長の考えを伺います。

### 町長

ご意見、ご提案を踏まえ、必要最小限の実施とし、事業効果を上げられるよう指示しています。整備計画の策定後には関係地区とも相談しながら、住民参加型のフラワーポット等の設置なども一例ですが検討しています。

### 道の駅は 叡智を尽くして

### 問

一生に一度、50年か100年に一度の取り組みとなる「道の駅」に叡智を尽くし、愛情を盛り込んでいただきたいと考えます。足湯、アンテナショップとして体験できるコーナー、災害時にも炊き出しに利用できる厨房、トイレだけでなく授乳、着替え用スタイングルーム、長岡の防災公園にあるように防災メーブルを受信できる自動販売機を設置などあっても良いでしょう。そして、田上の農業者や納入業者を育てていく、そういう部分も兼ねて道の駅とい

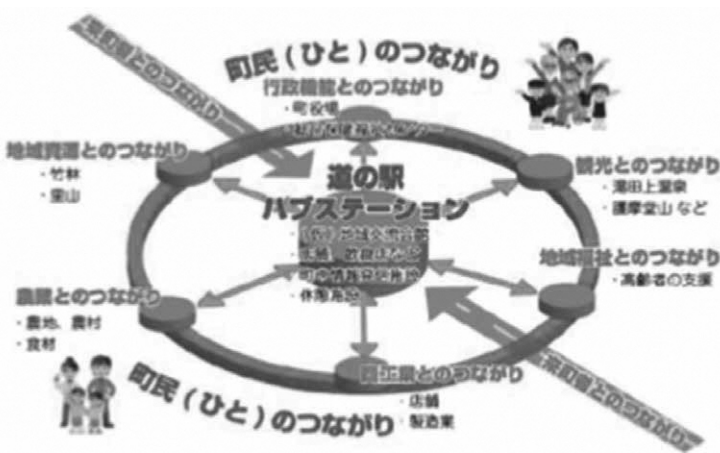
うことを取り組んでいただきたいと思えます。

町長の考えを伺います。

### 町長

「道の駅たがみ」は、重点道の駅の選定を受け、平成32年度に開設する予定です。国の掲げる地域福祉、地域の高齢化等に対応した住民サービスを提供する道の駅として、道の駅自体は完成してはいな

いものの、施設整備に向けた取り組み、考え方が評価されることによるものであります。道の駅は、新しい街づくりの核となる施設であり、町民の皆様のご期待に応えられるよう、町として全力を挙げて取り組む考えでありますので、皆様方からも様々なアイデアをいただければ大変ありがたいと思っております。



▲整備後（道の駅のイメージ）

これからあじさいロードも道の駅も愛情を込めて、素晴らしいものになると期待しています。



まつばら よしひこ  
松原 良彦 議員

## 町の農業の将来像について

町長：農業に魅力を感じる環境づくりを考えていきます

町農業の活性化、若い世代に活路を期待

**問** 今年の米の減収が確定し、作況指数が「96でやや不良」と報道されています。昨年と比較して10アルル当たり40〜60kg位少ないと思われるます。農家にとっては安い米価に追い打ちをかけられた状況にもなり、肥料や農薬、農機具代金の支払いなど頭の痛いことが続きます。そのことからも、農業の廃業、委託、自家用野菜を作る家庭菜園などますます規模縮小などから後継者不足になると思われます。

町の認定農業者は現在96名（内女性4名）ですが、60代と70代以上の方が70%近くを占めています。この年齢層を含めた状況は、全国的な問題で、田上町だけではありません。農業政策の最たるものとも言えます。

町の農業は基幹産業の一翼を担っています。担い手の育成についても、団塊の世代が

「現役期間」を終わろうとしている中、町の農業に明るい話題が出るよう今一歩具体的な策など、町長としての考えを尋ねます。

**町長** 農家の収入所得、税収以外にも農地や農業施設が有する様々な機能、効果等考慮した中で、農業は、町の基幹産業の一つと認識しています。農商工連携協議会において、農業者と商工業者が連携しながら特産品づくりに取り組んできました。今後もブランド戦略、プランづくりなど連携協議会を活かしながらプラン作成を検討していきたいと考えています。

農業の担い手育成や農地の集約に関しても、この問題の解決がなければ農業に未来はないと思います。いかに若い人たちが農業に魅力をもってもらうかというところが一番大事な観点だと思っています。米一辺倒ではなく、例えば園芸作物など、若い人たちが農

業に魅力を感じ、農業を継いでやっていこうという気持ちになれるような環境づくりを町としては考えていかななくてはならないと思います。県を含めた関係機関と連携して、地域の取組み等を研究しながら、制度や仕組みなど取り入れていきたいと考えています。

スクールバス空席は部活動の生徒？

**問** 自転車通学の父兄より、中学校の登校用スクールバスに使われていない席がいくつも見えるが、部活動の練習で空いた席なのかと尋ねられました。入学当時の申込みがそのままの形であれば半年以上が過ぎていきますし、空席の見直しや運転日誌からの朝夕の乗車人数の確認など、誰にもわかる情報を流してほしいと思います。

また、30年1、2月の大雪を見ると、冬期間のスクールバスの増便や生徒の安全確保の

面からも屋根やひさしのある停留所など検討してもらいたい、町の考えを尋ねます。

**教育長** 中学校のスクールバス規定は、平成18年に一番新しい形ができました。小学校と一緒になっていますが、中学校はおおむね3キロ以上、小学校は2キロ以上でスタートしました。地区名で決めるも難しく、地区と地区が隣接していると、隣の家の子は乗れたのに家の子は乗れないなどトラブルがありました。

中学校では、昨今人数が減ってきましたので、待ち時間軽減のため2便から1便にしました。

大雪のときも含めて、年の途中でも困ったことがありましたら学校に相談できるように体制が必要だと思っています。中学校、教育委員会などにいつでもご相談いただきたいと思っています。



せきね かずよし 議員  
関根 一義

## 財政の将来像を示し、町民と共有を

町長：予算編成方針の公表についてはどのような方法があるか検討してまいりたい

### 予算編成方針と編成過程の透明性を！

**問** 町の「長期ビジョン」では、2035年頃の人口動態を9000人と推計しています。

こうした推計に立つ財政の将来像は、国の地方財政計画によって担保されなければ成り立ち得ず、各年度における町の財政状況の認識と共に町民と共有すべきでしょう。

平成31年度予算編成は、町長の基本方針に基づき、財務担当の編成指針が示され着手されていますが、過去の町政では予算編成の過程において、その基本方針が町民に公表されることはありませんでした。予算編成過程の透明性を町民と共有することは、町政の公平性と活力を高めるために欠かせないことと考えています。

そのような問題意識から町長には今後の対応の中で、町政運営の基礎をなす予算編成

の方針とその過程が町民に公表されることを期待し、31年度予算編成に関する所見を伺います。

1. 国の地方財政計画と町の財政状況について
2. 予算編成の基本方針と重点化について
3. 29年度決算審査結果の反映について

**町長** 国の地方財政計画は毎年2月頃公表されるため、概算要求等を参考に地方交付税などの試算を行っています。

町の財政状況は、過日の全員協議会で示したとおり、決して余裕があるわけではありません。

31年度予算編成に当たっては、限られた財源の中で、公約実現に向けた事業、さらには交流会館運営管理費、下水道事業の再開、学校環境改善事業、防災無線などの新しい大規模事業も控えていることから、既存の各種事業の見直し、財源に見合った規模の抑

制など、より一層適正な予算組に努めることを基本方針としています。

予算の重点化については、総合計画の分野別目標の実現に向けて、各事業の規模や実施の有無を精査してまいります。

決算審査特別委員会で頂いたご意見、ご提案を踏まえた中で予算編成を行っていきたくと考えています。

### 地方債の交付税措置は各年度検証を！

**問** 交付税措置を見込んだ事業の選択と実施は、限られた財源の中で事業効果と財政健全化のバランスのもとに対応してきています。

各年度における交付税算入が適正か否かは財政上極めて重要なようです。交付税算入されるべき個別的な地方債の把握と適正な交付税措置額を捉えておくことは地方財政計画

と同様、将来的に担保されなければなりません。

交付税措置は所定率による事業ごと加算のもとに、各年度元利償還金に所定の率をもって交付されると理解しています。

それぞれ検証されていると考えますが、その在り方を伺います。

**町長** 新たな事業の実施を検討するに当たっては、その財源となる補助金や地方債が活用できるかどうかを調査しています。その地方債に対する交付税措置の有無が当該事業実施の大きな判断材料にもなります。

なお交付税参入の措置率は、地方債の内容によりそれぞれ異なりますが、毎年交付税の算定に当たりいくらか算入されているか確認しているところですので。



わたなべ かつえい  
渡邊 勝衛 議員

## 通学路沿いの民地におけるブロック塀は

町長：建築基準法に基づき合同点検を実施しています

### 安全なブロック塀で通学路の確保を

**問** 6月に大阪北部地震が発生しました。震度6弱の地震で、建築基準法の規定に適合しないブロック塀が倒壊し、通学途中の小学4年生の児童が死亡する痛ましい事故が発生しました。全国の自治体で通学路沿いの民地における危険なブロック塀がないか調査しております。内容について尋ねます。

**町長** 調査は三条地域振興局地域整備部建築課2名、町地域整備課1名、教育委員会1名の計4名で9月4日に建築基準法に基づき合同点検を実施しました。通学路における民地ブロック塀の調査件数は94件で、基準に適合しない箇所として63件、倒壊の危険性があるもの7件でした。危険な箇所については、教育委員会を通じて学校に周知しています。

### スマホのGPS機能で除雪の管理を

**問** 1月早々からの大雪で除雪に追われました。除雪基準では、車道除雪は10cmの降雪があり、なお降り続く見込みがある場合行い、午前7時30分に作業終了となっています。実績はどうでしたか。

今年の大雪で市民生活に大きな影響が出た新潟市は、除雪車にスマホを取付け、GPS機能で位置や稼働状況を一括して把握し、緊急性や雪の量に応じて配置し作業を効率化、除雪の済んだ場所をホームページで市民に公開します。GPSを使用することによって経費が削減されるとのことです。今後の導入予定について尋ねます。

また、町の消雪パイプの点検状況について尋ねます。  
**地域整備課長** 雪の降り具合で作業終了時刻に終わらなかつた時もあります。道路パトロールを密に行うことで住民

サービスの向上に努めてまいります。

スマホのGPS機能の導入については導入市町村の状況も調査し、研究していきます。消雪パイプの点検では、メーンパイプ3箇所、ポンプ1箇所等不具合箇所は全て修理して解決しています。

### 記念駅伝大会は町内一周駅伝大会に

**問** 駅伝大会も来年は、60回と節目を迎えます。多くの町民が応援することが出来る町内一周駅伝大会を開催することが大会に花を添えることになるのではないのでしょうか。町の考えを尋ねます。

**教育長** 22年度の第51回から現在の周回コースに変更しました。選手の安全確保が一番の理由です。70名のスタッフで運営ができます。一周コースに変更することは、倍以上のスタッフが必要です。今後周回コースで開催すること考えています。

### 巡回バスの対応は早急に

**問** 団塊の世代ももう少しで、後期高齢者となる時期を迎えました。スピード感を持った対応を町長に提案します。

**町長** 巡回バスについては、31年度に公共交通協議会を設置し、国、県を含めた関係機関から意見を頂きながら、取り組んでまいります。

### 安心・安全な田上町に

**問** 地区に存在し、心霊スポットになっている箇所があります。固定資産税も滞っております。土地の差し押さえは、お考えでしょうか、町長に尋ねます。

**町長** 町税の徴収については、地方公務員法、地方税法の規定により守秘義務が課せられており、個別の事案に対しては申し上げられません。徴収事務に関しては関係法令を遵守し、適正に対応しています。

ここが聞きたい

# 一般質問



池井 豊 議員

## 「経済活動を支える最重要産業」基幹産業は何？

町長：生活基盤を支える産業として農業です

「基幹産業」かつては農業、今は製造業です。正しい認識で産業成長を！

問 町基幹産業という言葉の意味を辞書で調べると「一国の経済活動を支えている最重要な産業分野」と記されています。田上町の基幹産業は何ですか。製造業・商業・観光業・農業のそれぞれの出荷額をお聞かせください。また、それぞれの産業成長をどのように考えていますか。

産業振興課長 農業従事者は392人、産出額は14億3000万円となっています。製造業の事業者数は79社、従業者数1005人、売上高112億6500万円、卸売、小売業は96社、従業者数524人、売上高90億1200万円、宿泊、飲食サービス業は46社、従業者数347人、売上高18億2600万円となっています。

町長 多面的な機能というものを考えた場合に、農業は基幹産業であると思います。それぞれの産業の伸びしろというものはまだまだ十二分にあると考えています。農業に関しては、園芸作物を積極的に導入することや、製造業・小売業などではIT化やIoTを活用することによって生産性が向上し、業績の拡大も可能であると考えています。

国・県も観光業の成長強化、後れをとらず積極的支援を！

問 成長産業に位置づけられるのが観光業だと思います。関連する業種への波及効果もあり、戦略的な強化策が必要です。他市町村に比べても予算額が少ないです。適切な予算額をどう考えますか。また、振興策を尋ねます。

町長 観光業に関しては国・県もインバウンド誘客を推進しています。田上町では、403号バイパスの開通や湯田上温泉へのアクセス道路の改良、道の駅の開業など社会資本整備が大きく整っていく中で町の観光戦略、ブランド化を進めたいと考えています。観光予算については、町全体の予算規模も斟酌（しんしゃく）した中で規模にならざるを得ません。

生涯学習の人材育成がまちづくりにつながります！

問 各種アンケート等の調査・評価によると生涯学習における人材活用と人材育成がうまくいっていないような気がします。指導委員・推進員の研修ボランティアやボランティアガイドの育成など急務と考えますが、お考えをお聞かせください。また、生涯学習における大学連携はどのように考えますか。

教育長 正直言いましてなかなか人材の活用ができませんでした。来年からこれを改善してまいります。まちづくりにかかわっていただく人材やリーダーについては、本当に大切だと思っています。大学連携では新潟経営大学に事業の企画運営に携わっていただいています。これからも協力していただき新たな事業を模索していきます。



▲大学連携：ゆうゆう教室の一コマ



総務産経常任委員会

期日 平成30年10月30日～31日

富山県下新川郡朝日町 朝日町役場

朝日町の財政状況について

は、当町の倍の90億円を超える予算規模です。過去の状況を見ると、平成元年度の一般会計は47・8億円、11年度にはごみ焼却場の建替えにより93・9億円、その後は65億円程度で推移してきましたが、23年度に過疎債の対象自治体となり、それを利用しての事業が徐々に増え、26年度には80億円を超え、30年度には92・9億円となっています。移住・定住化促進策については、10年度の人口の社会増減率が▲0・98%と高く、人口流出を食い止めるため、民

間賃貸住宅の建設補助金制度や空室の家賃補助制度などを導入し、また住宅取得奨励金、住宅購入奨励金、リフォーム奨励金、転入家族奨励金などもあります。生活体験ができる「さゝ郷ほたる交流館」、空き家を利用した「まちなかさ」とやまお試し住宅」などの施設もあり、29年度の社会増減率は▲0.6%と若干改善しているそうです。

子育て支援策については、0歳児から高校生までの通院・入院の医療費無償化、中学生までの給食費の無料化を行っています。また、保育士の確保が難しいため、朝日町で子育てをする場合には、生後6か月から2歳の誕生日までの間月額6万円、3歳までは3万円の応援金支給制度があります。他にも保育料第2子半額、第3子以降は無料、延長保育料も21時まで無料などの取組を行っています。



▲朝日町役場での説明

富山県黒部市 一般社団法人「でんき宇奈月」

でんき宇奈月は、宇奈月温泉街で電気コミュニティバスを運行しています。導入以前は、駅から各温泉旅館が送迎バスを出していましたが、渋滞や排気ガス等の問題がありました。経費節減と排気ガス削減など環境改善のためイスのツェルマットを手本に、コンパクトかつエコな街づくりを目指して電気コミュニティバスを導入したそうです。

バスの性能は、10人乗りの電気自動車で、最高速度は時

速20km、バッテリーは交換方式で1回の充電で走行距離は35kmです。車両価格は1800万円ですが、各種補助金を利用すると500万円程度で購入できるそうです。運行期間は4月から11月まで、冬期間は観光客数が運行期間の10分の1に減少するため休止しています。乗車賃は無料で広告費や協賛金でまかなっているそうです。

小水力発電については、落差9・24mの用水路の水を利用し、毎時2.2kwの電力を発電。発電した電力は、総てコミュニティバスの充電に使われています。

委員長 高取 正人



▲宇奈月電気コミュニティバス

社会文教常任委員会

期日 平成30年10月9日～10日

見附市「まごころ学園」

「まごころ学園」と「まごころ寮」の両施設を有する見附市、長岡市、三条市、加茂市、田上町の4市1町で構成する新潟県中越福祉事務組合が運営する障がい児・者併設施設です。

9月に完成した新園舎は、全国でも珍しいライフスタイル重視のユニバーサルデザインに基づいた全館木質建築の施設で、建物は全館連結され回遊できます。個室は9.9㎡の広さがあり、バリアフリー、空調設備はもちろん、火災対策用のスプリンクラーの設置など万が一の対応策も万全です。3mの積雪にも耐えうる丈夫な設計がされています。

入居者の皆さんと話ができ、楽しそうな園での生活がうかがわれました。



▲まごころ学園館内の様子

構造・建築面積 (床面積)	木造平屋建て (2054.69㎡) 1907.68㎡
総事業費	6億9,770万円
居室	36の個室(一部9.9㎡)で成人部定員21名、児童部定員15名(児童部の年少児は一部2人利用) ※これまでの学園は4人部屋が8室でした。

田上町からの利用者は現在2施設で計4名とのこと。

富山県中新川郡舟橋村  
「子育て共助のまちづくり」  
「駅舎と一体の図書館」

舟橋村は、面積3・47km<sup>2</sup>で面積が日本一小さい自治体です。

富山市中心部へ電車で約15分とアクセスに恵まれた地理的条件から、近年はベッタウンとして人口・世帯数とも大幅に増加しています。

人口は男女併せて3086人、世帯数1051戸(9月1日現在)。平成16年頃に比べるとほぼ倍の人口増加になっています。

子育て共助のまちづくりを指して、小中一貫教育、村内外から集まるママたち手作りの子育て支援センター、0歳児からの英会話の試み、CSV(企業がビジネスとして自ら行う地域づくり)や母力(子育て共感賃貸住宅)による地方創生など村民一体のまちづくり等、多くの人達が関わっているとの説明がありました。



▲人口増の舟橋村・子育て共助のまちづくりについて

た。数々の取組みにより年少人口割合も全国1位(H22国調)とのこと。

また、「越中舟橋駅」駅舎と一体化で建設した「舟橋村立図書館」は、パーク・アンド・ライドで駅利用者の増加や図書館職員の丁寧な対応等により、口コミで利用者が増え、住民一人当たりの年間貸し出し冊数は32冊で日本一となっています。

委員長 松原 良彦

加茂市・田上町消防衛生  
保育組合

行政視察

期日 平成30年10月24～25日

視察地及び研修内容

長野県松本市

松本市役所「こども部こども  
育成課」

丸の内病院病児保育施設「わ  
かば」

松本市の菅谷市長は医療者  
ということもあり、医療・福  
祉・子育て支援には特に力を  
入れ、「子どもにやさしいまち  
づくり」を進めています。

20年11月に病児保育事業を  
始め、現在では4か所になり  
ます。また、松本市内にある  
保育園・幼稚園・認定こども  
園に在園の児童は8時間以内  
であれば無料で利用できるこ  
とです。

組合議員 川崎 昭夫

関根 一義

池井 豊

浅野 一志

新潟県中越福祉事務組合

第2回定例会

期日 平成30年11月2日

場所 見附市まごころ寮

29年度決算は歳入額

12億2288万3875円、歳



▲病児保育施設「わかば」

出額9億4642万2407  
円で歳入歳出の差引残額は  
2億7646万1468円、  
翌年度へ繰越します。

30年度補正予算は歳入歳出に  
それぞれ800万8千円を追  
加し総額5億6004万6千  
円とするものです。

また、職員定数を34人から  
42人に改める条例改正、監査  
委員の選任として平賀博志氏、  
滝沢茂秋氏の任命同意が提案  
されました。

全件可決、認定、同意され  
ました。

新築されたまごころ学園を  
見学。全面木質の温かみのあ  
る建物は、各団体から多くの  
見学者が来ていますとのこと  
でした。

組合議員 椿 一春

三条・燕・西蒲・南蒲広域  
養護老人ホーム施設組合

第2回定例会

期日 平成30年11月26日

場所 三条市役所

29年度決算の認定につ  
いて、歳入では収入済額  
が2億1694万161円  
で前年度に比べ207万円  
の減、歳出では支出済額  
1億9307万4315円  
で、前年度に比べ312万  
円の減です。歳入歳出差引  
額2386万5846円は  
30年度へ繰越し、この内  
1700万円を基金へ繰入れ  
ます。

また、施設組合議員その他  
非常勤職員の公務災害補償等  
に関する条例の制定について  
議案が提出されました。

2議案は審議の結果、原案  
どおり認定、可決しました。

組合議員 小嶋 謙一

## 第22回交流会館等 建設調査特別委員会

期日 平成30年10月23日

あじさいロード整備事業計画  
について

設計業務委託予算が可決されたことに伴い、町民からあじさいロード整備について疑問の声や委員の中でも様々な意見がありましたので、現地調査を実施しました。

あじさいロード整備事業計画についての必要性については理解しましたが、委員から事業費の減額や町民参加のあじさい等花の植樹など考えてはとの意見がありました。  
ふるさと田上ふれあい街道としての役割が果たせるよう今後も、調査・研究してまいります。

## 第23回交流会館等 建設調査特別委員会

期日 平成30年11月19日

重点道の駅に関する意向調査  
の結果について

「重点」道の駅がみは、高齢者の社会参加、交流、買い物難民対策として整備されます。今回は、公共交通を利用する場合の条件についてなど、日常における移動手段や町民がどのような運行形態を望んでいるのか等意向確認のため、老人クラブ連合会の会員にアンケート調査をお願いし、その結果の説明でした。多かつた回答としては、「予約なし」で「決まった時間に運行される町営バス」等でした。  
重要な問題でありますので、後日時間を取り協議したいと思います。

委員長 小池 真一郎

## 議会からのお知らせ

### 田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。QRコードからでもアドレスを取得できます。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>



### 議会会議録をホームページに掲載します

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。各定例会の約3か月後に公開となりますのでご了承ください。

田上町ホームページ <http://www.town.tagami.niigata.jp/> TOP → 田上町議会 → 会議録

### 議회를傍聴してみませんか

次の定例会は2月28日(木)からの予定です。請願は2月21日(木)までに提出されたものを3月定例会で審議します。



# 全員協議会

期日 平成30年10月23日

## 防災行政無線を導入

8月から2回にわたって説明がありましたが、国の財政措置や整備手法について疑問点があったことから、今回は防災行政無線を整備している県内市町村の災害時の情報伝達手段や整備状況、課題・問題点等を調査した結果が報告されました。

同報系防災行政無線は県内22市町村で整備され、防災ラジオ（コミュニティラジオ）は13市町村で導入されています。運用上、気象状況によりスピーカーの音声が聞き取りづらい、直下の住民は放送がうるさい等、問題・課題があるとの結果が報告されました。このため全戸へ確実に情報伝達するためには、登録メール、エリアメール、防災ラジオ等の併用で、伝達手段を多重化する必要があるとの説明があ

りました。

これらの結果を受け、国の財政支援措置を6事業に分類し比較検討した結果、親局（役場）、子局10ヶ所（屋外スピーカー）、戸別受信機4000台（全戸配布又は希望する世帯）を整備する案が示されました。

この事業での総事業費は、約2億8300万円で、国の財政支援を受けて町の実質負担額は、約8500万円になるとの考え方が示されました。

今後、新年度予算に盛り込まれることとなりますが、実施するにあたっては住民説明会等で充分理解を深める必要があるとの意見がありました。

期日 平成30年11月19日

## まちづくり財政計画が示される

例年見直しが行われ、平成29年度の決算を基に34年度までの5年間の見通しが示されました。

計画では、不足する財源

は財政調整基金等の「基金」で賄われることとなりますが、34年度末の基金合計残高は6億8800万円（29年度末の基金合計残高は17億8200万円）との見込みが示されました。

基金が減少となる要因は、現在建設されている交流会館等の都市再生整備事業、同報系防災行政無線整備の防災対策事業、各学校の空調設備設置による小中学校整備事業等の事業が見込まれていることによります。

小中学生の給食費負担軽減、2歳児までの「子育て助成金」新設、まちづくりを進めるための田上町ブランド戦略（発信強化・開発支援）等も盛り込まれた計画です。

## 指定管理者の募集

30年度末で指定管理期間が満了となる椿寿荘、総合公園YOU遊ランド、町営野球場の3施設について、31年度以降の指定管理者を募集するた

めの要項の説明が行われました。3施設とも募集は12月から31年1月21日までとし、その後、審査委員会で審査決定し3月議会にて指定の議決を得る予定となっています。

質疑の中では、椿寿荘の大型バス等の駐車場不足の問題が指摘されました。

## 立地適正化計画素案が示される

28年度から策定を進めていたこの計画について素案が示されました。合意形成に向け、今後都市計画審議会や住民説明会等を経て、年度末までに策定を完了するためのスケジュールが報告されました。

議論の中で、国の方針に沿った計画となっていますが、町の実態に即した計画としていくためには業者任せにすることなく、職員の手で作りに上げることが重要ではないか等の意見が出されました。

議長 熊倉 正治

今回は、田上町多目的交流施設「ごまどう湯つ多里館」の菅家館長にお話を伺いました。



▲湯つ多里館フロントの菅家館長

## 施設の紹介

湯つ多里館は、平成13年4月にオープンして以来、約32.8万人の皆様よりご来館いただいております。まず日帰り温泉施設です。

特徴は、1日何度でも再入館が出来ること、近隣の温泉施設とは違い、飲食の持ち込みが自由であること、県内では数少ない飲める温泉であることです。そして、一番の特徴は湯けむりの向こうに広がる越後平野の大自然が一望でき

る、県内屈指の眺望が自慢の温泉施設です。

## 現状と課題

オープン以来、17年以上が経過し、施設及び機械施設などの老朽化が進んでおりますため、ご来館の皆様には時折ご迷惑をおかけしている状況で、少し心配なところがあります。

最近のご来館者の食堂のご利用が増えており、食堂専用の広いブースがあればと思っております。また、近隣の温泉施設では個室が設営されており、現在では個室があることが当たり前のような風潮になっております。ご来館者からも「個室は無いのか？」といった問い合わせを沢山いただいている状態です。

今後もご来館者に満足していただくために、様々なイベントの企画や物販等にも力を入れていきたいところではありますが、スペース等の関係で断念せざるを得ないこ

とが増えております。

## 行政に望むこと

施設管理に

必要な備品・消耗品と水道光熱費等の値上げ、今後引き上げが行われる消費税による管理費の増加が見込まれるため、今以上に行政と管理者が密に連携を取り合っていくことが必要と思われま



▲公式HP : <https://www.gomadouyuttarikan.com/>

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は「己亥」（つちのこい）となります。「己亥」という年は、60年に一度しかやってきません。そう考えると、大切な一年という感じがしてきますが、一方茂みから突如と現れ突進するイメージもあります。ややこしい年ではなく景気回復にも期待が出来、皆さんが安心して暮らせる年になってもらいたいと思います。

昨年は町長選挙と町会議員補欠選挙がありました。議会も新しい町長のもと、一丸となって町政運営に取り組んでまいります。今年もよろしくお願い致します。

（藤田 記）

- 委員長 浅野 一志
- 副委員長 高取 正人
- 委員 松原 良彦
- 委員 中野 和美
- 委員 渡邊 勝衛
- 委員 小嶋 謙一
- 委員 藤田 直一